

令和6年度 第1回 歯科口腔保健推進検討部会 議事録	
日時	令和6年6月14日（金）19時00分～20時13分
開催場所	市庁舎18階みなと6・7会議室
出席者等	歯科口腔保健推進検討部会委員 14名（別添名簿のとおり）
開催形態	公開（傍聴者0名）
議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 横浜市歯科口腔保健推進計画の推進について （1）計画に基づく取組予定について （2）周知方法について 4 報告 （1）第3期健康横浜21の評価基準の考え方について （2）令和6年度「歯と口の健康週間」中央行事について 5 その他
1 開会	
2 あいさつ	
3 議事	<p>横浜市歯科口腔保健推進計画の推進について</p> <p>（1）計画に基づく取組予定について</p> <p>【資料3-1】横浜市歯科口腔保健推進計画</p> <p>【資料3-2】横浜市歯科口腔保健推進計画に基づく主な取組予定（令和6年度）</p> <p>事務局から資料3-1、3-2について説明</p> <p>（山本部会長）</p> <p>今年度に歯科口腔保健に関する取組を予定している委員から、取組予定の説明と、所属する団体以外の取組をご覧になっての質問や意見があれば併せて発言をお願いします。</p> <p>（板山委員）</p> <p>地域ケアプラザは各地区にあるが、ここにはあくまで駒岡の地域ケアプラザだけで今年度予定している2つの取組を記載した。</p> <p>乳幼児期では、子育て中の保護者を対象としたイベントを行う予定。もともと保育つきで保護者同士の情報交換や保護者向けの講座を定期的に行っているその一環だが、7月に区役所の歯科衛生士を招いて「子供の歯の困りごと」と「保護者の歯のケア」をテーマに話していただく。昨年度から行っている取組で、今年度は子供の歯の講座のみならず、成人期にも入ってくるが、保護者の歯のケアについても話していただくことになっている。</p> <p>高齢期では、歯科衛生士を招いて地域の高齢者向けに口腔についての講座を行う予定。毎年全6回講座を行っているうちの1回で、ほかには体操や栄養、高齢者向けなので特殊詐欺の話など、内容を変えて9月から2月ぐらいにかけて行う。同じ内容のものを、こちらの地域ケアプラザとは別に、地区センターも借りて約20名の方に行う予定。</p> <p>（蟹澤委員）</p> <p>今年度のテーマとして地域の健康づくりを掲げ、サブテーマの中でも歯科口腔保健の推</p>

進、オーラルフレイルの予防の理解を進めている。保健活動推進員は1期2年で3分の1が入れ替わる。今期の新しい保活の中には、まだまだオーラルフレイルの予防の大切さを十分に理解していない方もいるので、関係団体の協力を頂きながら研修などを行って理解を深めていきたい。

地域での子育て支援、例えば赤ちゃん教室などにおいて、妊娠期の方や母親、最近は父親も一緒に来る方が増えているので、子供だけでなく、働き盛りでもある自身の健康に、今多いと言われている歯周病が影響を及ぼすということ、お口のケアを意識して行うことで病気のリスクも減らせるということを、声を大にして伝えていきたい。

また、地域の体力測定や高齢者の見守り訪問などでお口のケアの大切さを伝えている。ふれあい昼食会とか、ケアプラにもお世話になっているが、体力測定会や健康づくりステーションなどの場で口腔機能をチェックし、お口の機能アップの体操なども行っているので、今年度も続けていきたい。全ての区が足並みをそろえてというわけにはなかなかいかないが、できるところから行っていきたい。

(清水委員)

毎年、福祉大会を開催しているが、今年は昭和大学スペシャルニーズの弘中先生という、障害者歯科の先頭を走っている先生に講演いただき、その後、歯科衛生士の方から、去年も行ったが、障害児者の口腔ケアの研修を実技として行っていただく予定。口腔内が汚れていると細菌まで誤嚥をして誤嚥性肺炎の原因にもなるので、正しい歯磨きを支援者や障害者の親に身につけてもらおうと企画している。

毎年夏に次年度予算要望を提出しているが、毎回言っている歯科保健医療センターの新設。歯科保健医療センターでは毎年9000人を超える受診者がいて、ほぼ限界に近いと聞いているので、ぜひその要望はしていきたい。

(中里委員)

18区の薬剤師会までは把握できていないが、市薬剤師会の事業としては、各年齢にオーラルフレイルや歯科の健康に関する配布物があれば、薬局でポスターを掲示したり、患者にリーフレットやパンフレットを渡すなどして情報提供できたらと考えている。

また、今年度から市との合同事業でフレイル予防を始めている。今回、栄区、南区、泉区では、薬局に来た患者に運動や口腔、栄養、社会参加などの約30分のミニ講座の口腔の中でフレイルに関する話を実験的にできたらと考えている。

(西尾委員)

産保センターでは、成人期のところで職域での健康支援を予定している。また、産業保健関係者に対し、口腔ケアと全身の健康との関係について研修を企画したいと思う。

(二宮委員)

市歯科医師会では、まさに今、資料5-2の歯と口の健康週間中央行事というのを行っている。各区の歯科医師会では個別にイベントと啓発事業を行っているが、直近では保土ヶ谷区と都筑区の歯科医師会が区と協力して日曜日にイベントを開催するので、ぜひ参加いただきたい。

そのほか、歯科医師会としては健診事業を行っている。例えば妊娠期であれば妊婦歯科健診、乳幼児期であれば1歳半・3歳児健診、学齢期であれば小学校・中学校の健診事業、成人期であれば歯周病等検診事業と、全てのライフステージを対象に健診を行っている唯

一の団体として健診及び歯科口腔保健の推進に当たっている。

また、例えば地域ケアプラザでフレイルの講演を行うなどの啓発活動をしている。歯科医師会は全ての団体に対してオープンなので、何かあればぜひお声がけいただきたい。

(長谷川委員)

各ライフステージ対象者に、歯科口腔機能と栄養管理は密接な関係があるので、栄養士会として歯科口腔保健推進計画に基づいて取組を実施していきたい。

職能団体である県栄養士会は、専門分野によって7つの職域事業部会——医療、福祉、学校健康教育、研究教育、公衆衛生、勤労者支援、地域活動に分かれている。ライフステージごとに職域の関わり具合は異なるが、それぞれの職域が連携して健康増進に努めている。市在住・在勤の栄養士が所属する地域の栄養士が第1 県民活動事業部会で、各職域でも役員を構成しているので、市の計画は役員を通して周知して協力していく。

取組予定としては各ライフステージ別に書いているが、各職域の栄養士が歯科口腔と関わる視点を持って栄養管理に当たれるよう、当会の事業に組み込んでいきたい。妊娠期・乳幼児期は行政の栄養士や地域の栄養士、保育園の栄養士、学童期は学校の栄養士、成人期は病院やクリニックで勤務する栄養士、企業の保健指導などに当たっている栄養士、高齢者は福祉の高齢者施設の栄養士や地域の栄養士が関わる。障害児及び障害者は、福祉施設の栄養士や、地域での生活においても関わりが深いので、地域の栄養士が関わる。共通のところでは、栄養士会の事業で取り組む危機管理対策や、各区の市民向けの公益事業イベントに協力していく。市歯科医師会からも今、WEB開催中の歯と口の健康フェスティバルに後援依頼があったので、それにも応えている。健康推進会議21とも連動し、関連団体として取り組んでいきたい。

(米山委員)

私たちは食育啓発を行っている団体なので、育ち・学びの世代と働き・子育て世代に対しては、よくかんで食べることの大切さを食育啓発の話の中に含めている。育ち・学びの世代には、よくかんで食べることによって味覚が発達し、食べ物の味をより深く感じる事ができておいしく食べられることを伝えている。働き・子育ての世代に対しては、よくかんで食べることはストレスの緩和や肥満防止につながるということで、かむことで満腹中枢が刺激され、適量の食事で満腹感を得られたり、食べ過ぎを防いだりすることを伝えている。私たちも健康横浜21の委託事業をしているが、その事業目標である適正体重を維持することにつながっていくものと考えている。実りの世代に対しては、口から食べることの大切さを、これはフレイル予防にとっても大切なことだと感じているので、そのことも啓発しながら伝えている。何よりも食べることは楽しみであって体をつくることなので、歯を大事にすることは各世代共通して伝えていきたい。

(山本部会長)

8名の委員から説明いただいたが、質問や意見があればお願いしたい。

(二宮委員)

先ほど清水委員から歯科保健医療センターのことが報告されたが、4月にタウンニュース社で、歯科保健医療センターの全身麻酔が4か月待ちと報道された。すぐ後の5月にはテレビ神奈川で同じく全身麻酔が4か月待ちと報道され、テレビ神奈川のYouTube番組には10日で1万2000アクセスがあるほど反響が結構大きかったので、対応が必要と思う。

妊娠期については、令和4年の妊婦歯科健診の受診率が4割。これは政令市の中ではいいほうだが、6割が受診していない。市の調査によると、妊娠中に7割が就業しているため、妊娠時の健診に行けなかった理由として忙しかったからというのが最多を占める。一つの提案として、今年度に限らず将来的な取組であるが、例えば妊婦歯科健診を妊産婦歯科健診にすることで、産後の健診を含めると産後うつが防げたり受診機会が増える。母親の受診率が上がることは子供にもいい影響を与えるので、そういった方法も一つ。例えば23区では新宿区以外は妊産婦健診を実施しており、珍しい取組としては、姫路市では受診すると500円分のギフトポイントがもらえる取組をやっている。妊娠時だけでなく、その後も含めた健診をしていくのも、将来的には一つの方法かと思う。

(堀元委員)

この会議は、そもそも歯科口腔保健のむし歯を予防するとか歯周病を予防するということではなくて、歯科口腔の問題というのは将来の生活習慣病だったり、口腔機能というのは結局食事だったり生活習慣だったり、健康な体をつくっていくということが一番見える各団体の方々が参加しているわけだが、各団体の取組予定を拝見し、改めて皆様がそういった視点で参加してくださっていることにお礼を申し上げたい。

今、三師会では医歯薬連携を進めているが、健康の分野でも各区の多職種連携を進めていければと思う。次は具体的にどのようにこの計画を落とし込んでいくかということになると思うが、また協力いただきたい。

(山本部長)

各団体から取組予定を挙げていただいたが、今後は団体間で連携している情報も入れていただきたい。様々な団体が連携していることが見えてくるのでよいと思う。

(2) 周知方法について

【資料3-3】横浜市歯科口腔保健推進計画概要版(案)

【資料3-4】歯や口の健康のために 横浜市歯科口腔保健推進計画について(案)

事務局から資料3-3、3-4について説明

(二宮委員)

健康横浜21も含めて歯科医療従事者の間ではまだ知られていないところがあるので、歯科医療従事者に対して周知するのは私どもの責任だと思って、今後、周知に努めたい。

医療局のよこはま保健医療プランはYouTubeにアップされているが、残念ながら視聴数が102件とか、1か月以上たっても件数が少ないので、健康横浜21においても方法を考える必要がある。

資料3-4にオーラルフレイルという言葉が幾つかあるが、健康横浜21を策定するに当たってオーラルフレイルを知っている市民は17.5%だったと思う。つまり、8割が現時点ではオーラルフレイルを知らないということで、市民向けのパンフレットにオーラルフレイルと書いても分からない方がいると思うので、例えばただし書でオーラルフレイルとは何かというのを書くのも一つ。

もう一点、「行うこと」のところに「専門的ケアを受けます」とあるが、専門的ケアが分からない人には分からないので、「歯科医療機関での専門的ケアを受けます」と記載するのも一つの方法。

	<p>(堀元委員)</p> <p>乳幼児期は、離乳食から幼児食になり、食を学ぶとても大事な時期。歯並びが悪い子供は顎が小さい。アレルギーで口呼吸になっている子供が最近多いことも影響するため、私のところでは、歯並びの悪い子は治療する前に耳鼻科に行ってもらっている。</p> <p>そんなに悪い食事でもないのに、何でこの子はむし歯がどんどんできるのかと思ったら、実は耳鼻科でシロップのお薬がずっと出ていた。ヨーロッパではノンシュガーだが日本では砂糖が多いと調剤薬局の方から聞き、ストローで飲んでもらおうとか、ほかのものにくるんで飲んでもらおうとか。乳幼児期というのは、実はそういった問題がいろいろ出てくる時期なので、できればここに、食べる機能の獲得だったり、食習慣や生活習慣ということも少し入れていただきたい。私のところでは1か月に1回、妊婦向けの講演をやる時には、保育士や管理栄養士を呼んで、だっこひもはどうか、口腔機能を育てるための赤ちゃんの抱き方とか、家の遊びの中でやる体操などをやっている。それが歯科の今の現状ではなく、今から歯科でも多職種連携でやっていかなければいけないので、歯が生え始めるのはもちろんだが、口腔機能の獲得とか、そういうところも記載していただくと良いと思う。</p> <p>(長谷川委員)</p> <p>高齢期のところで「むし歯や歯周病が進み、歯を失うおそれがあります」とあるが、義歯との関係などを入れないでよいのか。義歯や入れ歯の具合などは口腔機能と関わりがあり、歯がないと食事が進まずオーラルフレイルが進んだりするので、義歯をきちんとしましょうといったようなところはどうか。</p> <p>(山本部長)</p> <p>歯を失いやすい年代なので、治療で補う必要があるとか、何か考えていただきたい。</p>
4 報告	<p>(1) 第3期健康横浜21の評価基準の考え方について</p> <p>【資料4】第3期健康横浜21の評価基準の考え方 事務局から資料4について説明</p> <p>(2) 令和5年度 歯と口の健康週間行事について</p> <p>【資料5-1】令和6年度 歯と口の健康週間中央行事について 【資料5-1別紙】令和6年度 横浜市歯と口の健康週間地区行事实施計画一覧 【資料5-2】令和6年度 歯と口の健康週間中央行事チラシ 事務局から資料5-1、5-1別紙、5-2について説明</p> <p>(二宮委員)</p> <p>大人から子供まで楽しめるコンテンツとなっているので、ぜひご覧いただきたい。「よく噛んで食べよう!! お弁当コンクール」には栄養士会の先生方にも参加いただきたい。歯磨きをはじめとしたオーラルケアに関しては、むし歯、歯周病の予防に寄与するのはもちろん、少し前にライオンが研究発表していたが、心身をリフレッシュする効果もあるので、「はみがき大作戦」で皆様も歯磨きを頑張ってくださいと思う。</p> <p>(山本部長)</p> <p>せっかく様々な分野から委員の方々にご出席いただいているので、全体を通じて一言、発言のなかった委員の方々をお願いする。横浜市医師会の池島委員から、今日は歯科の話</p>

であったが、医師会の立場から一言お願いしたい。

(池島委員)

内容に関しては多分、私ども医師会はあまりここに強く関わってきていないのかと思われるので、医師会にて周知をしておこうと思う。

先ほど話があったように、歯科医師会と医師会、薬剤師会はこの分野に関しても連携していかなければいけないなど、今日はより強く感じた。

医療と介護の連携、65歳以上の高齢者、そこに糖尿病や、この中にも出てきた心疾患、摂食嚥下、疾患別の多職種連携事業が令和5年度から始まっている。そこは三師会だけでなく多職種の連携が大事になってくるので、各職種の先生にぜひ協力いただきたい。この分野に関しても歯科医師会の先生方が入っているので、しっかりと議論していけたらよいと感じた。

(石黒委員)

資料3-4はすごくシンプルで、これぐらいの文字数だと市民の皆さんにも見ていただけると思うので、これ以上文字が増えないようにしていただけたらうれしい。

二宮委員から話があったが、妊娠中の健診というのが私も実は受けられていない。女性も仕事をするようになって、その時期に医療機関にかかる時間がなかなか取れなかったのと、かかりつけの歯科医院に妊婦健診をしていただければいいのだが、そうではないところがかかりつけだった場合がすごく難しい。そこは行政とうまく絡みながら、区役所や市役所でも健診が受けられるようにすると、もっと受診率が上がるのではないか。

(鈴木委員)

学校保健の立場で関わらせていただいているが、学校保健に関しては、学校歯科医をはじめ、歯科衛生士による巡回指導がこれまで成果を上げてきているので、引き続きしっかりと連携を図りながら、学童期の歯科についてお願いしたい。

一般市民の立場での発言だが、例えばショッピングセンターのイベントで市民の方が列をつくって並んでいたことがあり、何をやっているのかと思って見ると、無料で何かを配布していた。それでどのぐらいそれを受け取った人が意識しているかは不明だが、無料で何かもらえると並び、受け取ったものに目を通したりしている。行政でできるか分からないが、例えば先ほど挙がっていたライオンなど企業の協力を得て商品を提供していただくとか、その場で何かを読んで応募した人の中から抽選で何かもらえるようにすると、意外と興味を持って応募する人もいるので、これをきっかけに今まで関心のなかった人に意識してもらえる可能性もあるかもしれない。素人考えだが、身近ないろいろなイベントを見ていてそんなことを感じたので、参考にしていただければと思う。

(藤田委員)

乳幼児期は園長会がいろいろ取り組まなければいけないと思いつつ、会の仕組みとして保護者に向けてというのがなかなかないと思って伺っていた。乳幼児期だからこそ、子供たちというよりは、保護者が丁寧に関わってあげなければいけないので、それをどのように発信していくかだと思っている。

先ほどかかりつけ歯科医の話があった。かかりつけ医は体調が悪くなったら行くが、かかりつけ歯科医は悪くなったら行くのではなく予防のために行くという意識をどのように発信できるかが大事。今の鈴木委員の話ではないが、かかりつけ歯科医を持つとこんな

	<p>特典があるということもできたら。皆さん忙しいためケアが遅れるのだが、ケアをきちんとすることで将来がよりよいものになるのであれば、かかりつけ歯科医を持つことはこんなにいいことなんだという発信をやはりしていかなければいけないと感じた。</p> <p>(山本部会長)</p> <p>今日は各団体の方々から今年度の取組予定を言っていたが、取組はそれぞれの団体が個別にやっているだけではなく、様々な連携が行われていることを知った。</p> <p>資料4で、評価の話が出ていたが、取組を行う以上、どれぐらいの効果があつたのかというのは、一つ一つ見ていく必要がある。取組と、それに関連する指標もセットで考えていくと、今後、どの取組がよかったのかが見えてくると思われる。</p>
5 その他	<p>(事務局)</p> <p>計画はつくっておしまいではなく、これからの推進のためにその先の何を目指してどういう評価につなげていくかを考え、整理しながら進めていかなければならないと改めて感じた。</p> <p>次回の部会は秋以降を予定。</p>
閉会挨拶	
閉会	